



2026年2月12日

各 位

会 社 名 株式会社西武ホールディングス
代 表 者 代表取締役社長兼COO 西山隆一郎
(コード番号: 9024 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員広報部長 多々良嘉浩
(TEL. 03-6709-3112)

2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年2月12日開催の取締役会において、2025年5月14日に公表した2026年3月期通期連結業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期連結業績予想

(1) 2026年3月期通期連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	償却前 営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する当期 純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回公表数値 (A) (2025年5月14日発表)	511,000	40,000	98,000	36,000	26,000	102.30
今回修正予想 (B)	511,000	42,000	100,000	41,000	29,000	112.65
増 減 額 (B - A)	0	2,000	2,000	5,000	3,000	—
増 減 率 (%)	0.0	5.0	2.0	13.9	11.5	—
(参考) 前期実績 (2025年3月期)	901,131	292,735	347,125	287,639	258,182	901.67

(注) 債却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算定しております。

(2) 修正の理由等

今回公表する通期連結業績予想は、足元の業績の動向に加え、営業外収益や特別利益の計上などの損益影響を踏まえ修正するものです。

営業収益につきましては、ホテル・レジャー事業において、ハワイの渡航需要の鈍化やマウナケアビーチホテルの客室改裝工事の遅れなどにともなう海外ホテル業の収入の下振れはあるものの、国内ホテル業におけるインバウンド個人や邦人客の取り込み、都市交通・沿線事業における鉄道業の運輸収入の上振れなどにより、2025年5月14日公表数値と同水準の見通しであります。

営業利益、償却前営業利益につきましては、各種費用の下振れにより、同公表数値を上回る見通しであります。

経常利益につきましては、営業利益の上振れに加え、営業外収益(為替差益)の計上などにより、同公表数値を上回る見通しであります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別損失(減損損失)の計上などはあるものの、経常利益の上振れに加えて、特別利益(ポスティングに係る譲渡金)の計上などにより、同公表数値を上回る見通しであります。

(3) 各セグメントにおける営業収益及び営業利益、償却前営業利益の見通し

(単位：百万円)

セグメントの名称	営業収益			営業利益			償却前営業利益		
	当連結会計年度 (今回予想)	5/14時点 公表数値比	前期比	当連結会計年度 (今回予想)	5/14時点 公表数値比	前期比	当連結会計年度 (今回予想)	5/14時点 公表数値比	前期比
不動産事業	83,600	+161	△397,008	10,900	+2,573	△226,717	19,200	+1,662	△228,918
ホテル・レジャー事業	249,000	△3,351	+7,740	22,800	△605	+4,159	40,000	△1,128	+6,291
都市交通・沿線事業	156,500	+1,593	+3,832	8,100	+252	△3,215	33,200	+1,518	△762
その他	54,300	+461	+3,002	1,300	△210	△764	6,200	△165	△425
合計	543,400	△1,135	△382,432	43,100	+2,009	△226,537	98,600	+1,887	△223,815
調整額	△32,400	+1,135	△7,698	△1,100	△9	△24,197	1,400	+112	△23,309
連結数値	511,000	0	△390,131	42,000	+2,000	△250,735	100,000	+2,000	△247,125

(注) 1 調整額については、主に連結会社間取引消去等であります。

2 債却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算定しております。

不動産事業の営業収益につきましては、軽井沢分譲地の販売の好調などにともない、2025年5月14日時点の公表数値を上回る見通しであります。営業収益の上振れに加え、各種費用の下振れにより、営業利益および償却前営業利益におきましても同公表数値を上回る見通しであります。

ホテル・レジャー事業の営業収益につきましては、国内ホテル業はインバウンド個人や邦人客の取り込みにより当初予想を上回る一方で、ハワイの渡航需要の鈍化やマウナ ケア ビーチ ホテルの客室改装工事の遅れなどにともなう海外ホテル業の収入の下振れなどにより、同公表数値を下回る見通しであります。営業収益の下振れにともない、営業利益および償却前営業利益におきましても同公表数値を下回る見通しであります。

都市交通・沿線事業の営業収益につきましては、外出需要の増加や2026年3月14日に西武鉄道株式会社が実施する鉄道旅客運賃改定による運輸収入の上振れを見込み、同公表数値を上回る見通しであります。減価償却費等の上振れはあるものの、営業収益の上振れにともない、営業利益および償却前営業利益においても同公表数値を上回る見通しであります。

その他では、近江事業の好調などにより、営業収益は同公表数値を上回る見通しであります。営業利益および償却前営業利益は、各種費用の上振れにより、同公表数値を下回る見通しであります。

(4) 業績予想修正の前提

① 国内ホテル業 客室稼働率・ADR 四半期ごとの見通し

【客室稼働率】

	2026年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
前回公表数値 (2025年5月14日発表)	73%	74%	77%	70%
今回修正予想 (第1四半期、第2四半期、第3四半期は実績)	74%	77%	78%	73%

【ADR】

	2026年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
前回公表数値 (2025年5月14日発表)	22,253円	23,549円	24,135円	23,080円
今回修正予想 (第1四半期、第2四半期、第3四半期は実績)	22,698円	22,328円	24,712円	23,726円

② 国内ホテル業 営業指標の見通し

(RevPAR・平均販売室料：円)

	2026/3期 前回予想	2026/3期 修正予想	対前回予想
RevPAR	17,155	17,675	+3.0%
平均販売室料	23,272	23,377	+0.5%
客室稼働率	73.7%	75.6%	+1.9pt

③ 鉄道業 旅客運輸収入 四半期ごとの見通し（前年同期比）

【定期】

	2026年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
前回公表数値 (2025年5月14日発表)	+1%	+1%	+1%	+1%
今回修正予想 (第1四半期、第2四半期、 第3四半期は実績)	+2%	+2%	+2%	+4%

【定期外】

	2026年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
前回公表数値 (2025年5月14日発表)	+1%	+2%	+1%	+2%
今回修正予想 (第1四半期、第2四半期、 第3四半期は実績)	+3%	+5%	+1%	+4%

④ 鉄道業 輸送人員・旅客運輸収入の見通し

(人員単位：千人、金額単位：百万円)

	定期	2026/3期 前回予想	2026/3期 修正予想	対前回予想
輸送人員	定期	359,956	362,663	+0.8%
	定期外	252,371	255,112	+1.1%
	計	612,327	617,775	+0.9%
旅客運輸収入	定期	40,958	41,337	+0.9%
	定期外	58,889	59,818	+1.6%
	計	99,847	101,155	+1.3%

(注) 本資料に記載されている当社グループの業績予想、目標、計画、予想その他の将来情報については、本資料の発表日時点において入手可能な情報に基づき作成した当該時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社グループの業績、財政状態その他の結果は、国内外の政治、経済、金融情勢の変動や、当社グループの中期経営計画において意図する施策の状況その他の本資料の作成時点で不確実な要素等により、本資料の内容又は本資料から推測される内容と大きく異なる場合があります。

以上